



いずみ野

令和2年10月30日

校長 齋藤 敦子

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/izumino/>

学校教育目標 「自分が好き 友達が好き 学校が好き このまちが好き」
～心豊かに学び合い、ともによりよく生きようとする子供～

主体的に対話的に深く学ぶ、子どもたちの人格完成を目指して

副校長 中村 好宏

私が子どもの頃に流行ったアニメに「鉄人〇〇号」というのがありました。主人公の少年がリモコンを使って巨大なロボットを動かしました。時は流れ、主人公が小さな乗り物に乗り、ロボットの頭頂部に入り込み巨大なロボットを操縦する「マ〇〇ガーZ」が流行りました。時代はさらに進み、主人公がロボットの体内に吸い込まれる「ライ〇〇ーン」というアニメが出てきました。そして、完全にロボットの体内に入り込み操縦するやや小さめのロボット「ガ〇ダム」が一世を風靡しました。

物語も勧善懲悪からなぜ戦うのか深い意味をもたせたストーリーに変化していきました。さらに「エヴァ〇〇リオン」の出現によってその操縦法も物語も全くもって今までの概念を変えていきました。主人公はロボット（正確にはロボットではありません）の体内に入るだけでなく、意識を同調させないと動かない設定になりました。

時代を振り返ると教師が子どもたちを動かそうとしていたことに酷似しています。教師が外から子どもを操縦していた時代、頭に乗っかって動かしていた時代、子どもたちの中に入り込んで動かしていた時代、そして、子どもたちの意識にシンクロさせて一緒に動こうとしていた時代があったような気がします。しかし、当たり前のことですが、子どもたちはロボットではありません。一人ひとり皆個性がある人間なのです。

令和の時代、一人ひとりの子どもたちに何を伝え、何を共に学んでいくのか、「主体的・対話的で深い学び」を実践していくために教師は日々精進していかなければなりません。



子どもたちの主体性をさらに伸ばしていくために各学級では子どもたちが主体的に話し合い「学級目標」を決めました。大ホールに掲示して全校の子どもたちが互いに見られるようにしています。

子ども自身の主体性のみならず、子ども主体となる学級づくりに努め、一人ひとりの人格完成を目指していきます。

今年度の運動会は、新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止に努めなければならない制約がある中で、子どもたちの主体性をより育みながら、内容や時間に工夫を重ね、実施します。

保護者のご参観を遠慮願う学校が少なくない中で、本校では、ご家族のみ2名までのご参観ができるようにいたします。詳細は、別途配付のご案内をよくお読みください。

「〇〇したい！」子どもたちが工夫して取り組む今年の運動会です。大きな声援は控えていただきますが、多くの拍手にて応援をお願いします。

運 動 会

「運動会したい！」

令和2年11月21日（土）8:50 開会（午前開催）

○雨天順延 実施可否は、ホームページにてお知らせします。

○例年とは違う形態での開催です。ご来賓の方々はお招きできません。どうぞご了承ください。